

中間報告に対するワーキンググループメンバーからの主な御意見

1 申請書の申込み欄について

共同受信施設とかCATVとか、支援のメニューを尋ねても理解できない方もいるのではないかと思います。

申請書では、例えば、申請の意思の確認を中心に考え、支援内容の希望は、事後的に電話で詳しく確認する方法も考えられるのではないかと。

地デジ対応テレビを持っているかとか、住んでいるのは一戸建てかアパートなのかとか、簡単な環境を書いてもらい、電話の際の参考とするという方法もあるのではないかと。

2 申請後の戸別訪問について

チューナーを送り届けるだけでは、技術的に対応が困難な方も多いと思われる。

予算的な制約があるとしても、やはり申請書を受けた段階で、支援実施法人が直接訪問して、環境を確認するなどのより万全の体制について、引き続き検討が必要ではないかと。

3 個人情報への配慮

委託の状況によっては、普段買い物に行く地元の電気店に個人情報が知られてしまうようなことも考えられるので、支援実施法人が工夫して防ぐことなどにも配慮した方がよいのではないかと。

4 アフターケアの必要性

支援は21年、22年度でも、アフターケアが必要な場合もあるのではないかと。